

「速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会」の開催

総務省では、消費全般の動向を、マクロ、ミクロの両面で捉える、速報性を備えた包括的な消費関連指標の在り方について検討するため、総務大臣主宰の新たな研究会を下記のとおり開催します。

1 目的

総務省では、我が国の家計収支の実態を明らかにするため、毎月、全国の世帯を対象に家計調査を行っており、その結果は、経済動向の分析、税制や社会保障政策の検討、消費者物価指数の作成、地域振興など幅広く利活用されています。

他方で、高い精度を持つ景気指標として利用するためには、標本調査としての限界もあり、家計調査の補完・補強や、ビッグデータ等を用いた指標開発など、新しい視点による消費関連統計の整備が急務となっています。

このため、総務省では、総務大臣の主宰による「速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会」を新たに開催し、消費全般の動向をマクロ、ミクロの両面で捉える指標の開発に向け、その在り方について検討を進めてまいります。

2 検討事項

- (1) 新指標の作成方法、体系化の在り方
- (2) 単身モニター調査、パネルデータ、供給側データ、ビッグデータの変動分析、バイアス補正及び合算方法
- (3) 家計調査、家計消費状況調査の推計及び合算方法、公表の一体化 等

3 構成員

別紙のとおりです。

4 スケジュール

平成 28 年 9 月 15 日（木）に第 1 回会合を開催し、以降順次開催する予定です。

連絡先：統計局統計調査部消費統計課
(担当：森本課長補佐、中村官)
電話(直通) 03-5273-1172

速報性のある包括的な消費関連指標の在り方に関する研究会

構成員一覧

(敬称略、50音順)

	いづか のぶお 飯塚 信夫	神奈川県経済学部教授
	いわむら ありひろ 岩村 有広	一般社団法人日本経済団体連合会経済政策本部長
	おしお たかし 小塩 隆士	一橋大学経済研究所教授
	くが なおこ 久我 尚子	株式会社ニッセイ基礎研究所主任研究員
座長	くにとも なおと 国友 直人	明治大学政治経済学部特任教授
	くまがい みつまる 熊谷 亮丸	株式会社大和総研調査本部副本部長・チーフエコノミスト
	こうの やすこ 河野 康子	一般社団法人全国消費者団体連絡会事務局長
	しんけ よしき 新家 義貴	株式会社第一生命経済研究所主席エコノミスト
	すえざわ ひでのり 末澤 豪謙	SMBC日興証券株式会社金融財政アナリスト
	すが みきお 菅 幹雄	法政大学経済学部教授
	せきぐち ひろゆき 関口 博之	日本放送協会解説主幹
	ながい あきこ 永井 暁子	日本女子大学人間社会学部准教授
	ひらしま あきひで 平嶋 彰英	総務省参与
	よしぞえ やすと 美添 泰人	青山学院大学経営学部プロジェクト教授
	わたなべ つとむ 渡辺 努	東京大学大学院経済学研究科教授

※ このほか、関係省庁等もオブザーバーとして参加する予定